

事務事業名 収蔵資料修復事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：1995

施 策：	06	歴史の継承と文化の振興	財務コード	--
基本事業：	02	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数 歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数		担当課	文化財課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、市外住民、団体（寄贈者、寄託者を含む。）			収蔵資料の修復、修理を行う。 根拠法令 ・博物館法 ・文化財保護法 ・筑紫野市歴史博物館設置条例						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			令和6年度に修復等を行った収蔵資料 紙本著色宝満山入峯絵巻						
収蔵資料を修復、修理を行いながら、適切な保護、保存を行うことにより、文化財を後世に伝えていきます。 修復、修理を行った収蔵資料を公開することで市民等の本市文化財への認知及び関心を高めていきます。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
活用点数									
5. コスト									
事業費		計	千円	3,042					
		国	千円	0					
		県	千円	0					
		地方債	千円	0					
		その他 一般	千円	3,042					
正職員人工数		人工		0.2					
正職員人件費		千円		1,605					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円		4,647					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		紙本著色宝満山入峯絵巻の修復を令和6年度に行いました。今後も、柚須原の木造聖観音坐像等必要な物の修復、修理を行い、収蔵資料のさらなる活用を図りたい。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	修復を行っていくためには、今在籍の学芸員に加え、収蔵資料に精通し、適切にその資料を整理、管理ができる学芸員が必要と考えます。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
地域の歴史・文化の学習、展示等に供するため、文化財を後世に伝えていくため、収蔵資料を適切に保存、管理を行う必要があります。 市民、研究機関等から、文化財の資料や情報の問い合わせ、提供の要望が日々寄せられています。					備考・特記事項 or 進行管理欄				